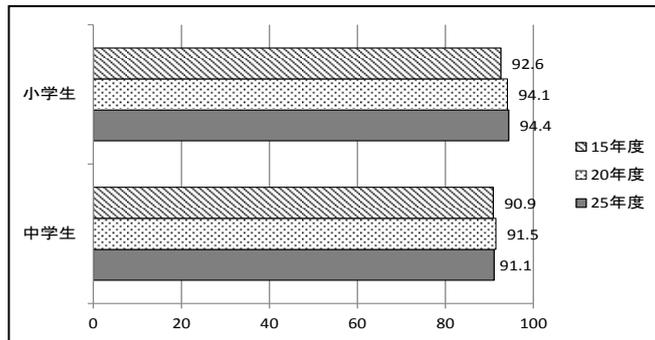


②子どもとの会話の内容

問27 あなたは、ふだんお子さんとよく話しますか。
 1. はい 2. いいえ

問27 お子さんとよく話すか

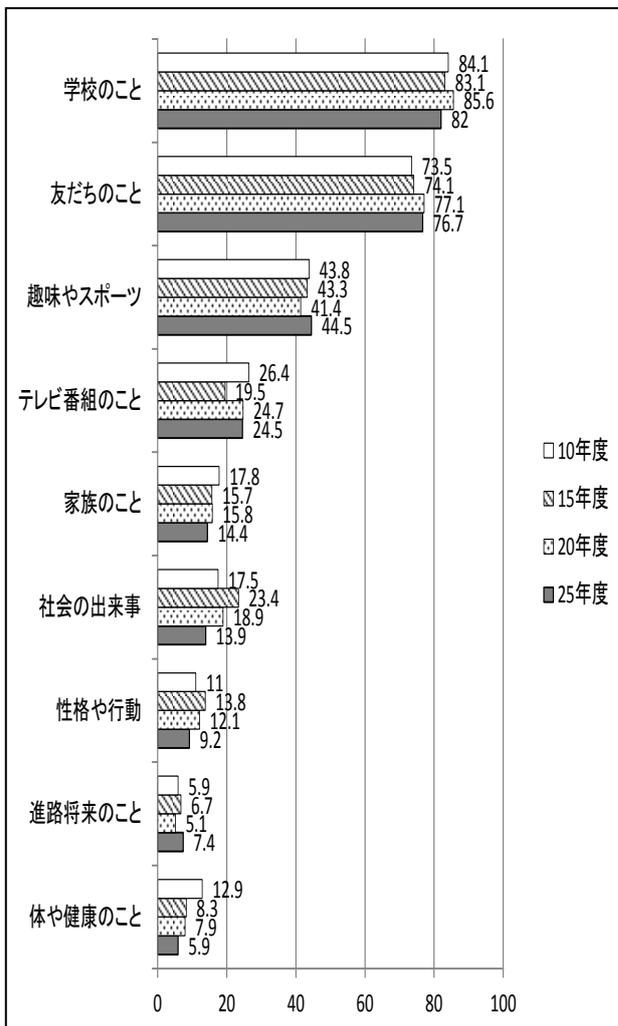


※平成10年度は、設問の仕方が違うため除く

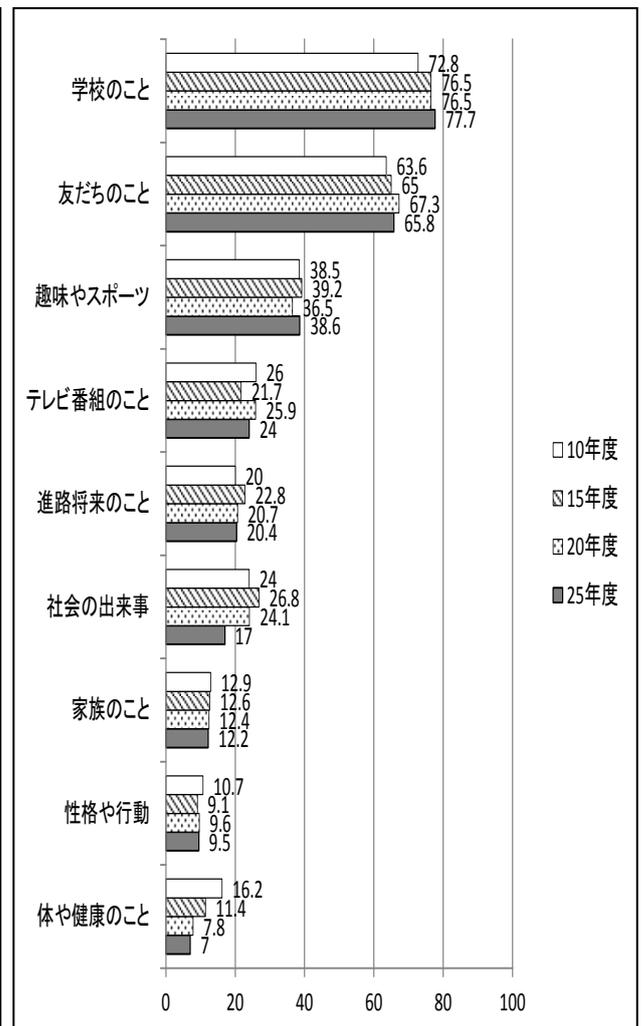
A どんな話をすることが多いですか（3つまで）

1. 学校のこと
2. 友だちのこと
3. 家族のこと
4. テレビ番組のこと
5. 趣味や遊びやスポーツのこと
6. 世の中のできごとやニュースのこと
7. 体や健康のこと
8. 性格や行動のこと
9. 進路、将来のこと

問27A どんな話をするか（小学生保護者）



問27A どんな話をするか（中学生保護者）



<平成25年度の結果>

「お子さんとよく話しますか」の設問に「はい」と回答している割合は、小学生の保護者の方が、中学生の保護者よりも高いものの、ともに9割以上である。

子どもとの会話の内容は、小学生、中学生の保護者ともに、「学校のこと」や「友だちのこと」が6～8割であり、「家族のこと」「世の中のできごとやニュースのこと」「性格や行動のこと」「進路、将来のこと」「体や健康のこと」は2割以下である。

「進路、将来のこと」については、中学生の保護者の方が高い割合である。(*)

<平成10年度から25年度を通しての比較>

これまでの調査において、小学生、中学生の保護者ともに、「お子さんと話しますか」の設問に「はい」と回答した割合は、いずれも9割を超えている。

子どもとの会話の内容は、小学生、中学生の保護者ともに、「体や健康のこと」は初回の調査から、「世の中のできごとやニュースのこと」は15年度以降、年々減少している。(*)



③しつけの様子

問26 あなたは日頃、お子さんに次のようなことについて気をつけていますか。
 (必ず(よく)そうしている、ある程度(まあ)そうしている、どちらともいえない、ほとんどそうしていない、まったくそうしていないから選択)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| A 毎日朝食をとらせる | G 起床、就寝時間を守らせる |
| B 食事中にテレビを見させない | H 「行ってきます」「ただいま」を言わせる |
| C 手伝いをさせる | I 身の回りの片付けをさせる |
| D 近所の人へのあいさつをさせる | J むだづかいをさせない |
| E 勉強時間を守らせる | K 友達と悪い遊びをさせない |
| F 帰宅時間(門限)を守らせる | L 大人に対する口のきき方や態度をしつける |

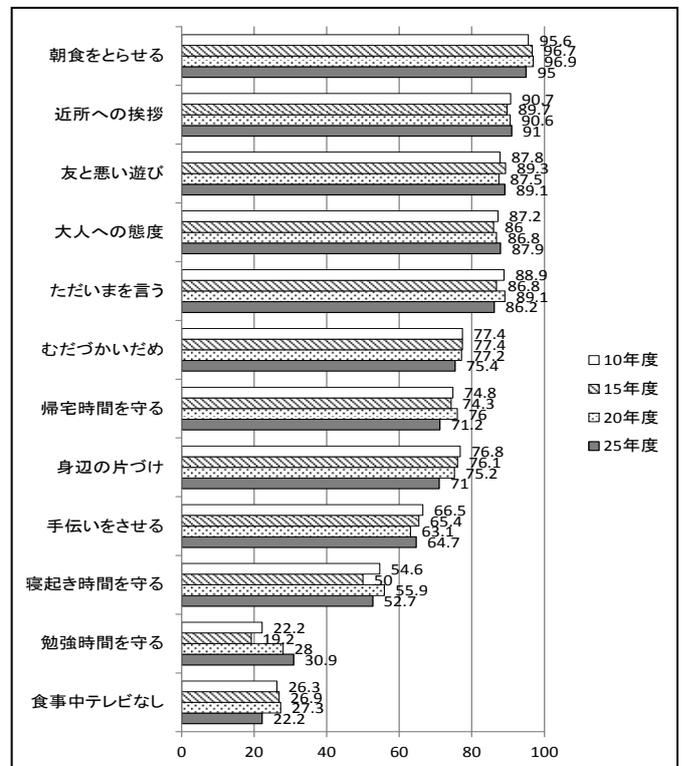
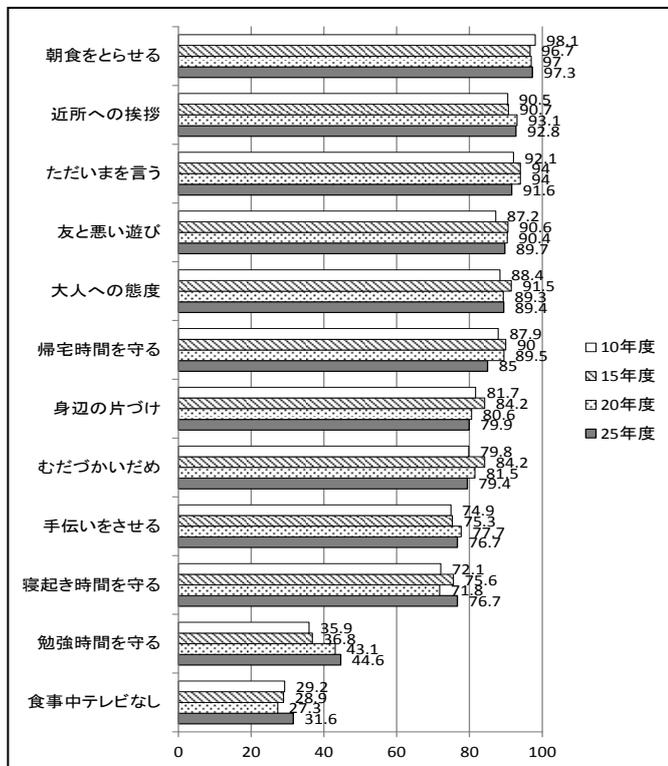
※グラフは、「必ずそうしている」「ある程度そうしている」を合わせたものである。

問26 次のことに気をつけているか(小学生保護者)

問26 次のことに気をつけているか(中学生保護者)

〈必ずそうする+ある程度そうする〉

〈必ずそうする+ある程度そうする〉



〈平成25年度の結果〉

しつけの様子について、日頃、しつけで気をつけていることで「必ずそうしている」「ある程度そうしている」を合わせると、「毎日朝食をとらせる」「近所の人へのあいさつをさせる」は、小学生、中学生の保護者ともに9割を超える。

しかし、「勉強時間を守らせる」「食事中にテレビを見させない」は、小学生の保護者は約5割、中学生の保護者は2割から3割程度である。

〈平成10年度から25年度を通しての比較〉

しつけの様子について、小学生、中学生の保護者ともに「勉強時間を守らせる」「起床、就寝時間を守らせる」は年々高くなっている。(*)

特に、小学生の保護者のしつけに対する意識が強まっているといえる。

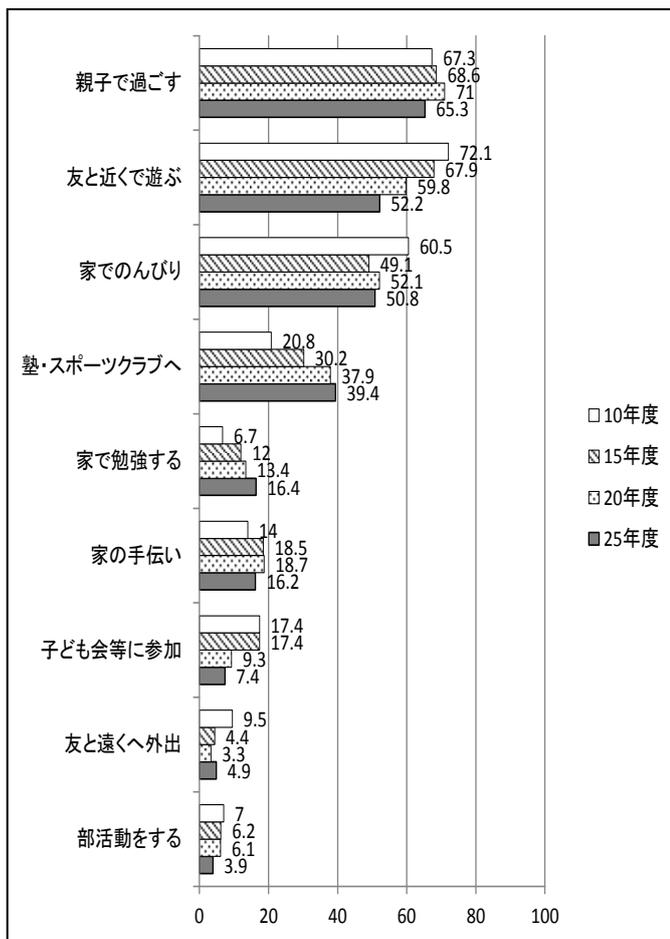
④土曜・日曜日の子どもの過ごし方

問15 あなたのお子さんは、土曜日をどのように過ごすことが多いですか。(3つまで)

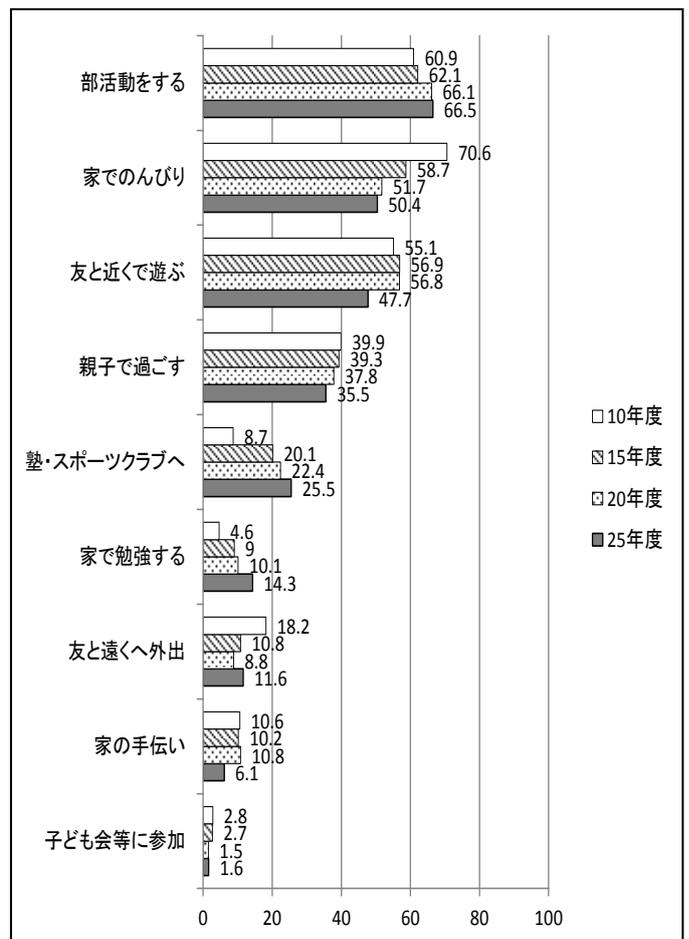
- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1. 親子で過ごす | 6. 友だちと遠くへでかける |
| 2. 家の手伝いをする | 7. 部活動をする |
| 3. 家でのんびり過ごす | 8. 子ども会など団体活動に参加する |
| 4. 家で勉強する | 9. 学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く |
| 5. 友だちと近くで遊ぶ | |

※平成10年度は、土曜日が月2回休みの時代であり、「土・日曜日の過ごし方」として回答を求めた

問15 土曜の過ごし方(小学生保護者)



問15 土曜の過ごし方(中学生保護者)



<平成25年度の結果>

土曜日の子どもの過ごし方について、回答で最も多いのは、小学生の保護者では、「親子で過ごす」、中学生の保護者では、「部活動をする」で、ともに6割を超える。次いで多いのは、小学生、中学生の保護者ともに「友だちと近くで遊ぶ」「家でのんびりする」である。

<平成10年度から25年度を通しての比較>

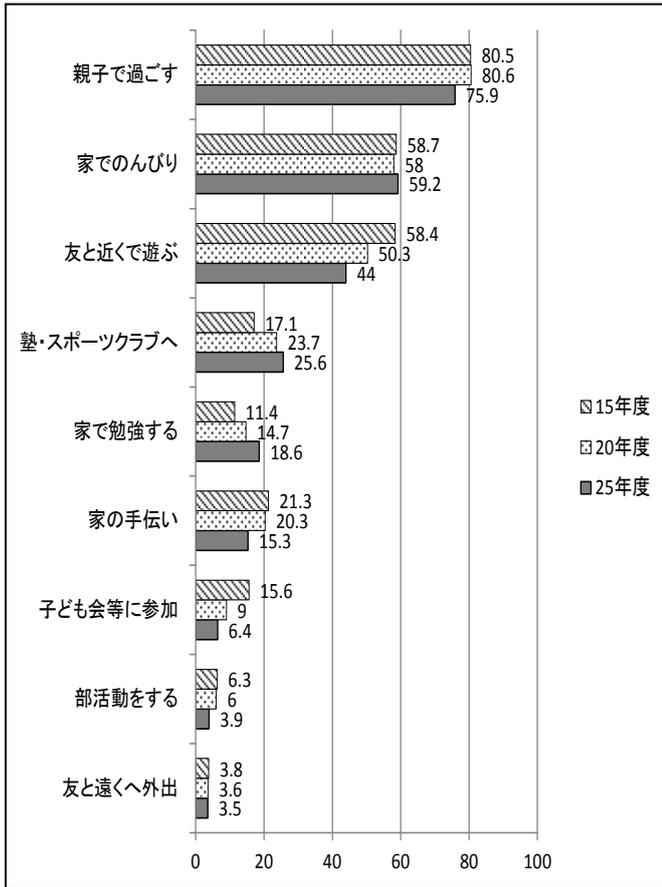
小学生の保護者では、「学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く」が増加傾向であり、「友だちと近くで遊ぶ」「子ども会などに参加」が減少傾向である。(*)

また、中学生の保護者では、「部活動をする」「学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く」「家で勉強する」が増加傾向であり、「家でのんびり過ごす」「家の手伝いをする」が減少傾向である。(*)

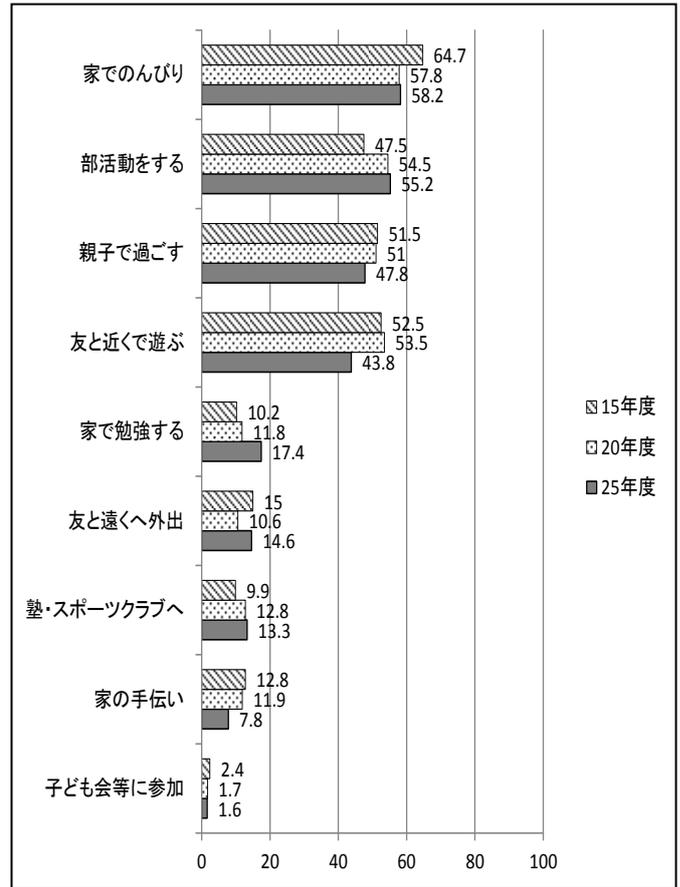
- 問16 あなたのお子さんは、日曜日をどのように過ごすことが多いですか。(3つまで)
- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1. 親子で過ごす | 6. 友だちと遠くへでかける |
| 2. 家の手伝いをする | 7. 部活動をする |
| 3. 家でのんびり過ごす | 8. 子ども会など団体活動に参加する |
| 4. 家で勉強する | 9. 学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く |
| 5. 友だちと近くで遊ぶ | |

※平成15年度より実施。

問16 日曜の過ごし方 (小学生保護者)



問16 日曜の過ごし方 (中学生保護者)



<平成25年度の結果>

小学生の保護者で多いのは、「親子で過ごす」「家でのんびりする」「友だちと近くで遊ぶ」、中学生の保護者で多いのは、「家でのんびりする」「部活動をする」「親子で過ごす」である。

土曜日の過ごし方と比べると、日曜日の方が、小学生、中学生の保護者ともに、「親子で過ごす」「家でのんびりする」が多い。

<平成15年度から25年度を通しての比較>

中学生の保護者では、「部活動をする」「家で勉強する」「学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く」が増加傾向である。(*)

小学生の保護者では、「友だちと近くで遊ぶ」「子ども会などに参加」が、中学生の保護者では、「家でのんびり過ごす」が減少傾向である。(*)

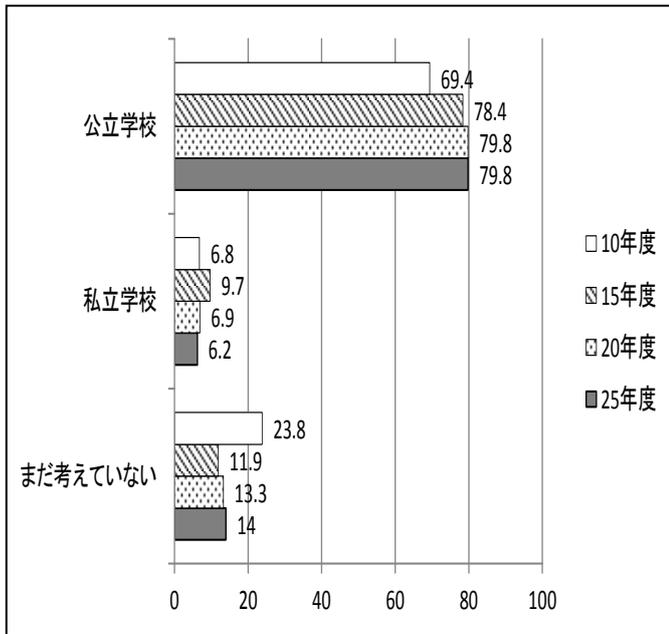
土曜・日曜日の過ごし方は、小学生、中学生の保護者とも、「家で勉強する」「学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く」が増加傾向である。(*) また、中学生の保護者では、「部活動をする」が、日曜日の過ごし方では増加傾向である。(*)

⑤進路に対する考え方

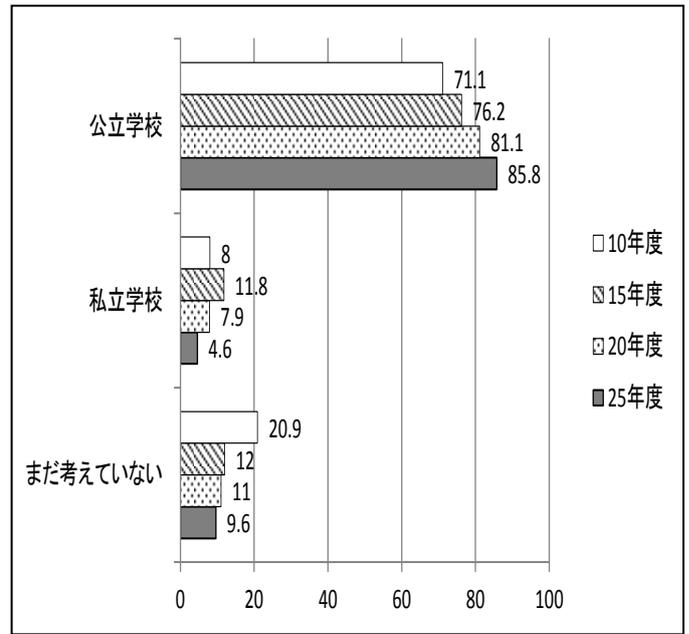
問 2 2 あなたは、お子さんを公立・私立学校のどちらに進ませたいと思っていますか。
 (小学生の保護者は中学校を、中学生の保護者は高校等の上級学校をイメージして回答)
 1. 公立学校 2. 私立学校 3. まだ考えていない

※「小学生の保護者は中学校を、中学生の保護者は高校等の上級学校をイメージして回答してください。」は、平成15年度の調査から追加した。

問 22 進学校の希望 (小学生保護者)



問 22 進学校の希望 (中学生保護者)



<平成25年度の結果>

進路に対する考え方は、小学生、中学生の保護者ともに、「公立学校への進学を希望する」が約8割である。

<平成10年度から25年度を通しての比較>

進路に対する考え方は、小学生、中学生の保護者ともに、「公立学校」が年々増加している。^(*) また、中学生の保護者では「まだ考えていない」は年々減少している。^(*)

⑥進学に対する考え方

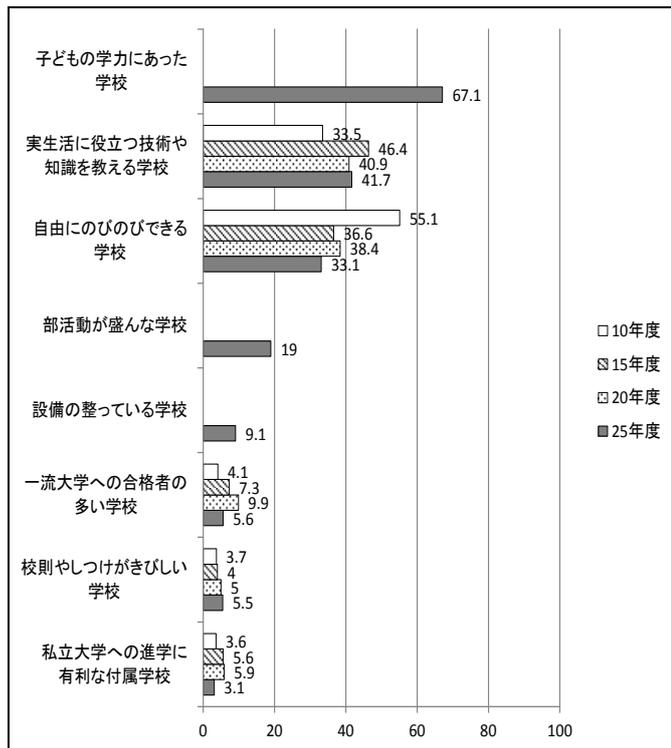
問23 あなたが、お子さんを高校へ進学させるとしたら、次の中でどのような学校に進ませたいと思いますか。(2つ選ぶ)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 生徒が自由にのびのびできる学校 | 5. 実生活に役立つ技術や知識を教える学校 |
| 2. 校則やしつけがきびしい学校 | 6. 設備が整っている学校 |
| 3. 一流大学への合格者の多い学校 | 7. 部活動が盛んな学校 |
| 4. 私立大学への進学に有利な付属学校 | 8. 子どもの学力にあった学校 |

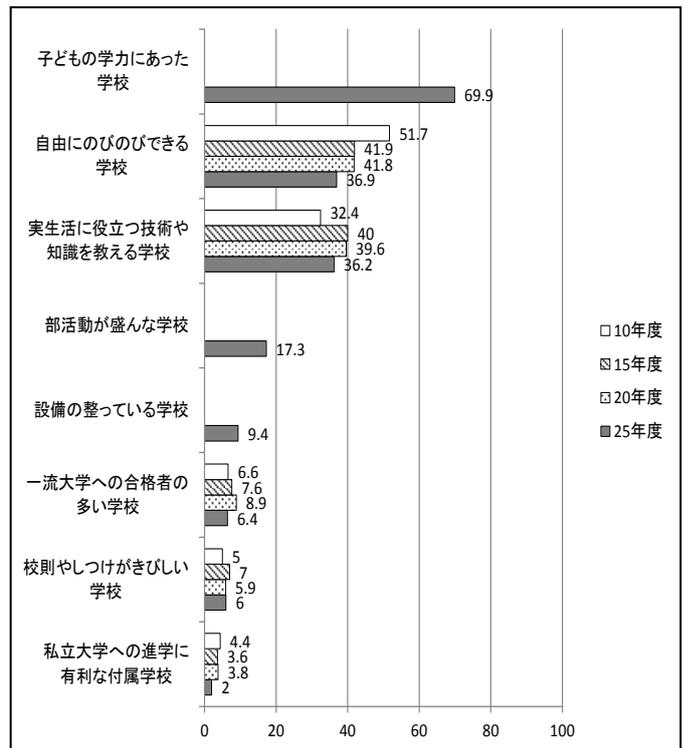
※平成10年度は、1～5の選択肢から1つ選ぶという設問

※平成25年度は、6. 7. 8. の選択肢を追加し、2つ選ぶように変更

問23 どのような学校に進ませたいか（小学生保護者）



問23 どのような学校に進ませたいか（中学生保護者）



<平成25年度の結果>

進学する高等学校に対する考え方は、小学生、中学生の保護者ともに、「子どもの学力にあった学校」が、一番多く、約7割である。ついで、「生徒が自由にのびのびできる学校」「実生活に役立つ技術や知識を教える学校」が多く、3割を超える。また、「部活動が盛んな学校」は次に多い。

<平成10年度から25年度を通しての比較>

小学生、中学生の保護者ともに、「自由にのびのびできる学校」が減少傾向である。(*)

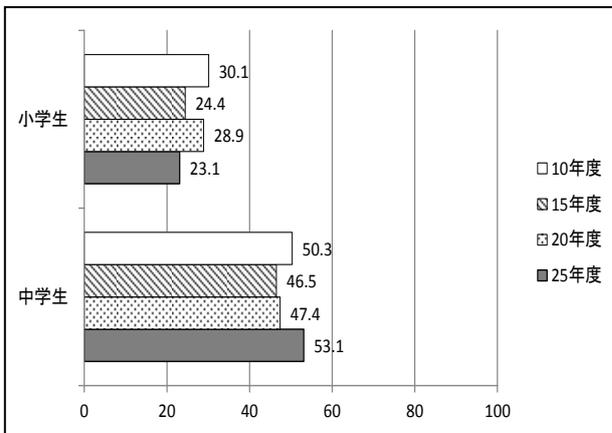
前回調査までは、大学進学まで視野に入れて考える傾向が強まっていたが、今回では、逆に減少した。

⑦学習塾に対する考え方

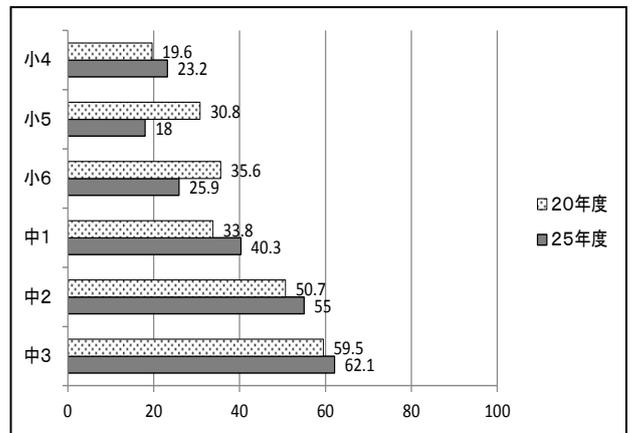
問30 あなたのお子さんは、学習塾に通っていますか。

1. 通っている 2. 通っていない

問30 学習塾に通っている



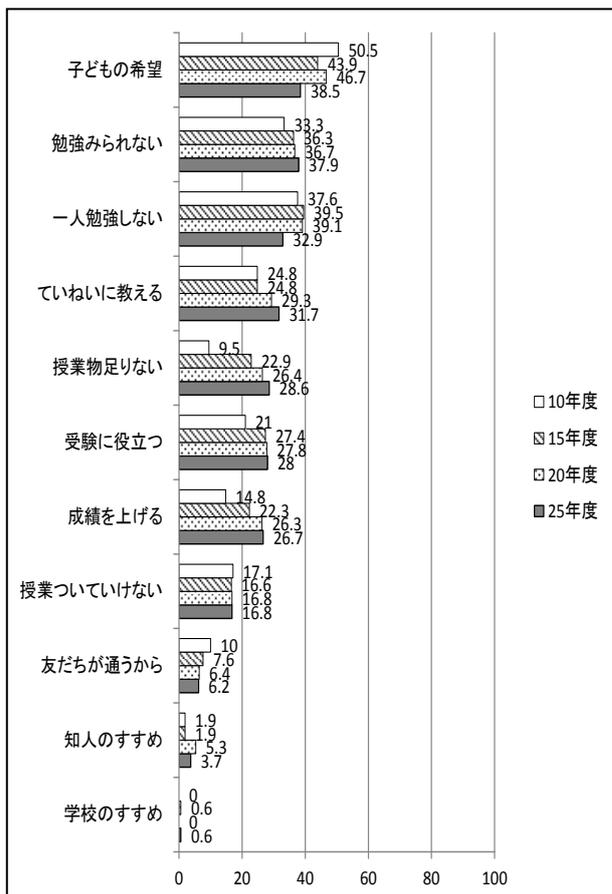
参考（学年別グラフ）学習塾に通っている



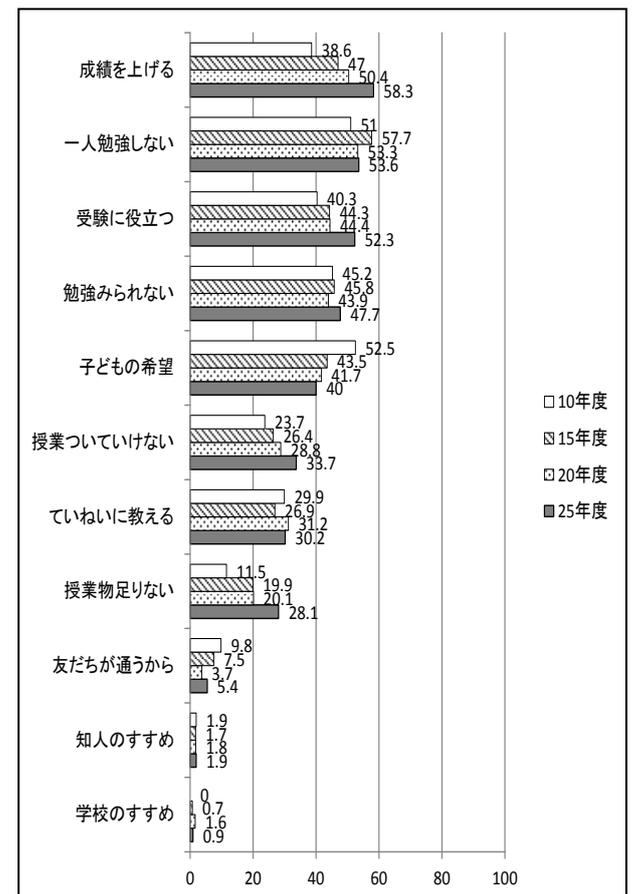
A あなたのお子さんを学習塾に通わせている理由は何ですか。（いくつでも）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 学校の授業についていけないから | 7. 子どもが希望するから |
| 2. 学校の授業だけでは物足りないから | 8. 子どもの友だちが通っているから |
| 3. 一人では勉強しないから | 9. 学校の先生にすすめられたから |
| 4. 家で勉強をみてやれないから | 10. 知人にすすめられたから |
| 5. ていねいに教えてくれるから | 11. 成績を上げるため |
| 6. 受験に役立つから | |

問30A 通塾の理由（小学生保護者）



問30A 通塾の理由（中学生保護者）



<平成25年度の結果>

「学習塾に通わせている」は、小学生の保護者で約2割、中学生の保護者で約5割である。

学習塾に通わせている理由としては、小学生の保護者では、「子どもが希望するから」が約4割、次いで「家庭で勉強をみてやれないから」「一人では勉強しないから」が多い。

中学生の保護者では、「成績を上げるため」が約6割、次に「一人では勉強しないから」「受験に役に立つ」が多い。

<平成10年度から25年度を通しての比較>

学習塾に通っている割合の増減については、小学生、中学生の保護者とも特徴的な傾向はみられない。^(*)

学習塾に通わせている理由については、小学生、中学生の保護者とも「学校の授業だけでは物足りないから」「成績を上げるため」が年々増加している。^(*)

中学生の保護者では、「授業について行けないから」「受験に役立つから」が年々増加し、「子どもが希望するから」が年々減少している。^(*)



⑧家庭教育で重視すること

問19 あなたは、お子さんの家庭教育で次のことをどの程度重視しますか。

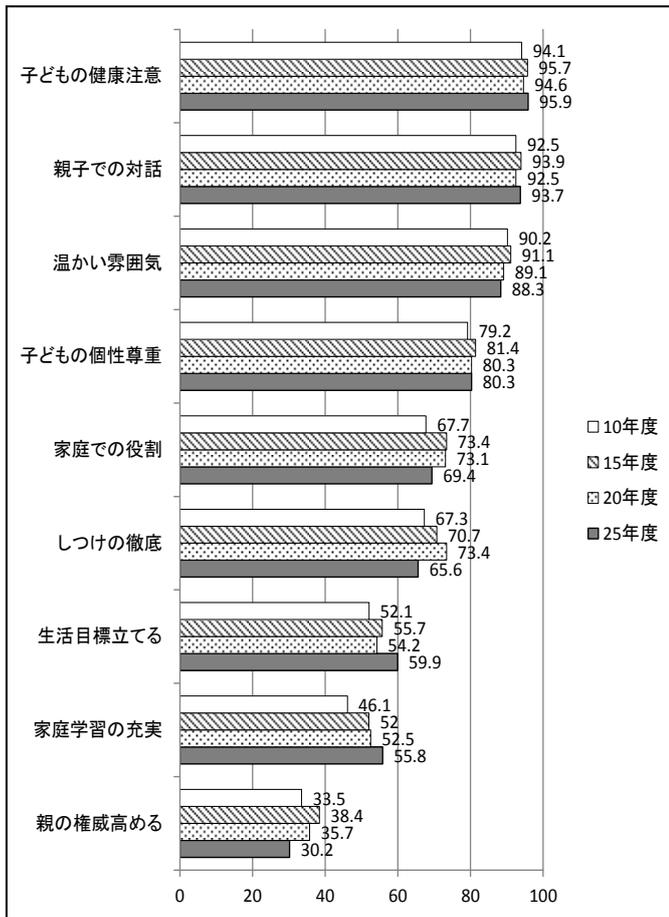
(とても重視する、重視する、どちらともいえない、重視しない、まったく重視しないから選択)

- A 子どもの個性を尊重すること
- B 子どもの健康に気を配ること
- C 家庭での役割を与えること
- D 家庭学習を充実させること
- E 生活目標を立てさせること
- F 親子で対話すること
- G 家庭の温かい雰囲気をつくること
- H しつけを徹底すること
- I 親の権威を高めること

※グラフは、「とても重視する」と「重視する」を合わせたものである。

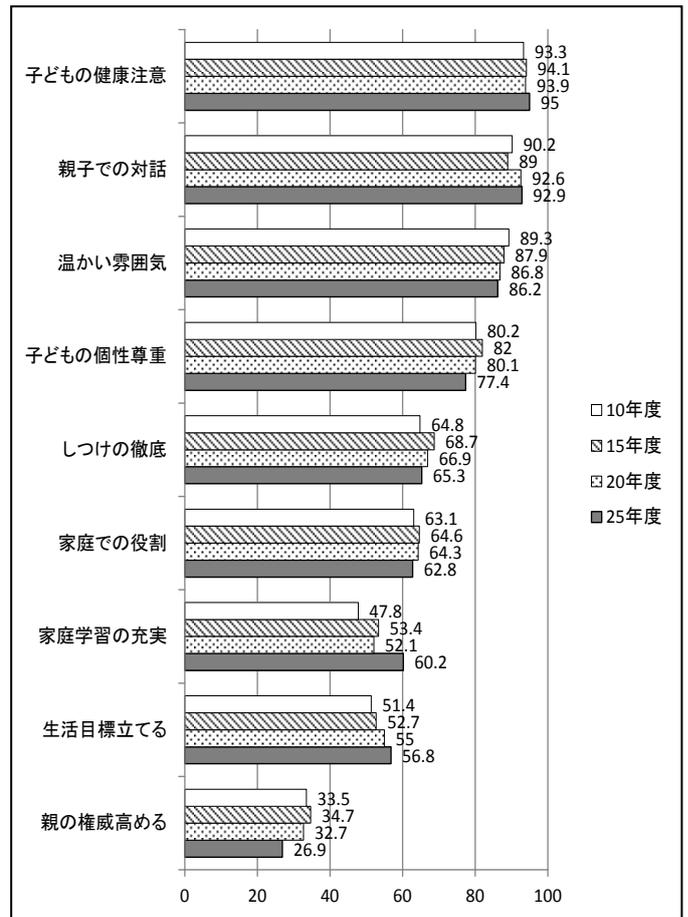
問19 家庭教育で重視すること（小学生保護者）

〈とても重視する+重視する〉



問19 家庭教育で重視すること（中学生保護者）

〈とても重視する+重視する〉



＜平成25年度の結果＞

家庭教育で重視することは、「とても重視する」「重視する」を合わせると、小学生、中学生の保護者ともに、「子どもの健康状態に気を配ること」「親子で対話をする」が9割を超える。

その他の質問項目は5割以上だが、「親の権威を高めること」については、小学生、中学生の保護者とも3割以下である。

＜平成10年度から25年度を通しての比較＞

家庭教育で重視することは、小学生、中学生の保護者ともに、「家庭学習を充実させること」「生活目標を立てさせること」「親子で対話すること」が年々増加している。(*)